



# IRIEPのご案内

## 2018 Profile

# 自然環境の維持が、生活環境の保全に繋がる

わが国は、世界中から資源を集め、効率的に使用することで産業を発展させてきました。しかし、昨今では、資源獲得競争が激化し、政府も資源の問題について本格的に参画することとなりました。

一方、人口増加、生活水準の向上に伴い物資の流れが急増し、特に廃棄物の激増は世界共通の問題となっており、また、有害廃棄物の越境移動を規定した「バーゼル条約」と循環型社会の形成は時代が要請する課題です。

日本は、`3 R イニシアティブ`を世界に提唱し、「循環型社会形成推進基本法」をはじめ、各種 3 R 関連の法律も成立させ、率先して行動しています。

古来、日本は「もったいない」精神を持っていましたが、高度成長、成熟時代を通じ、「使い捨て文化」が充満してしまいました。世は平成の時代となり、各種リサイクル関連の法律が成立しましたが、実態はあまり改善されず深刻なままです。

世界では、途上国の人口増加と生活の高度化に伴い、益々使用済みの製品が排出され、その処理と自然環境の汚染問題などが憂慮されています。

私たちは、未来に課題を残すわけにはいきません。3 R に関連する静脈産業を環境と経済の両面から育てていかなければなりません。

そのためには、GLOBAL な取組みと、政治・経済・学会・メディアの各分野の結集が必要です。

国際的な循環型社会の構築、産業の発展・雇用の安定に寄与するためにも日本の未来を支える重要な役割を担ってまいりたいと思っております。

皆様のご支援、ご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 国際環境政策研究所

理事長 小杉 隆



「地球環境国際議員連盟」をアル・ゴア元米副大統領  
(2007年ノーベル平和賞受賞者)らと共に設立  
第二代総裁に就任  
〔元衆議院議員 元文部大臣 衆議院環境委員長〕  
「環境基本法」「各種リサイクル法」「省エネ法」  
「地球温暖化法」等の成立に尽力  
東京大学卒

## 目 次

- 1 理事長あいさつ
- 3 活動目的、組織概要
- 4 役員、事務局、組織図
- 5 活動概要 月次定例会・社員総会の開催
- 6 活動概要 中央官庁、地方自治体、個人事業者、企業、団体等との意見交換
- 7 活動概要 中央官庁・市町村・企業・団体等の視察、見学、イベント参加
- 8 活動概要 内外の国際会議・イベント参加、意見交換等
- 9 活動概要 講演・セミナー・勉強会の開催
- 10 活動概要 3R推進・法令順守を基本とした業界自主ガイドライン等の作成



2015.12.3 フランス パリのレピュブリック広場

# IRIEPは「循環型社会形成推進基本法」の基本理念を踏まえ、時代に則した循環型社会の構築と事業者支援、消費者のニーズを反映するしくみの提案を目指す

## 活動目的

わたしたちは、地球温暖化対策・自然生態系保全・循環型社会形成等に関する内外の政策、課題等の調査、研究と製品の持続的使用(Reuse、Refurbish、Repair、Recycleなど)及び廃棄物の削減 (Reduce)に関する活動を総合的に取り組み、持続的社会的の実現に寄与することを目的としています。

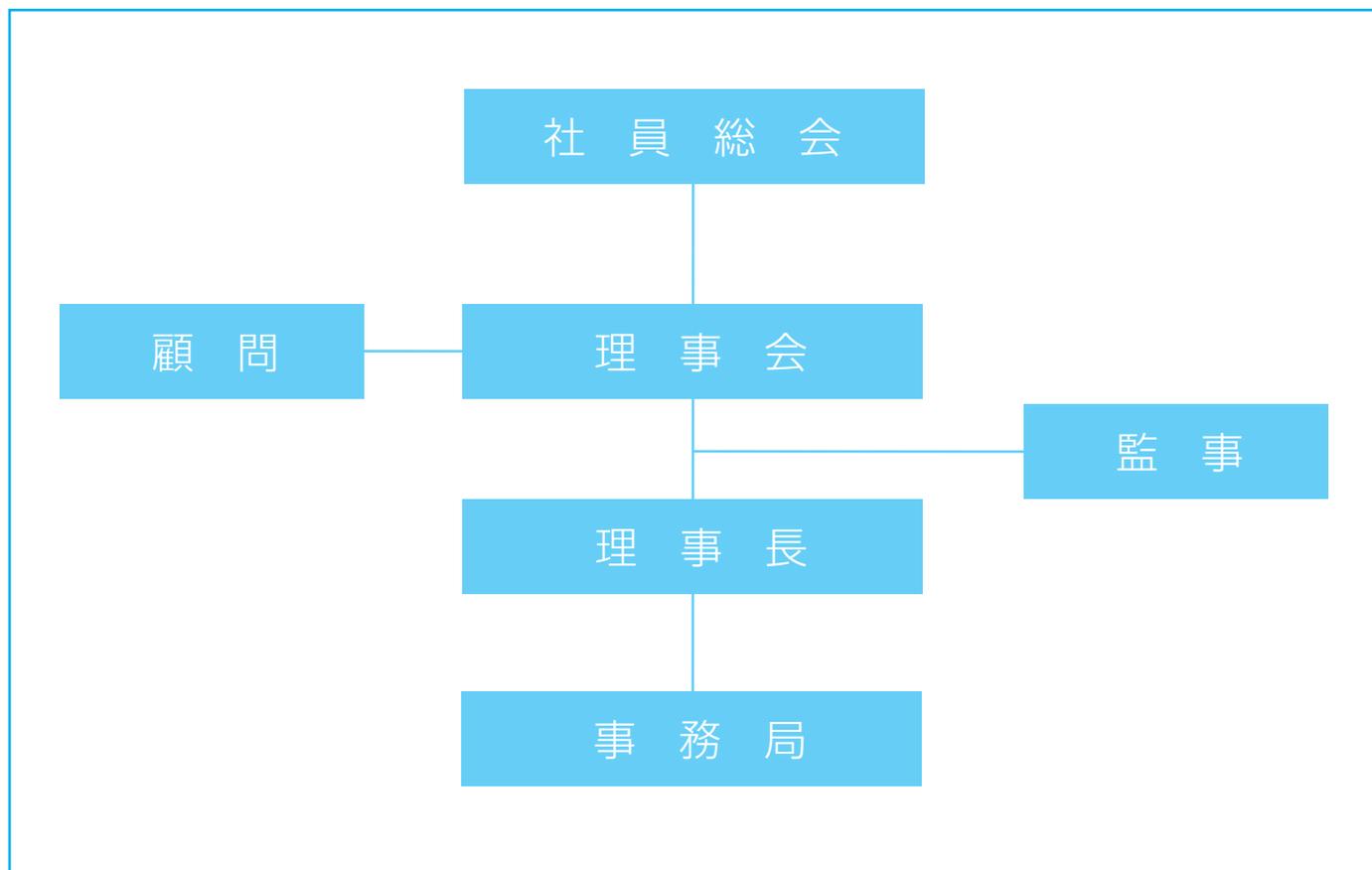
日本が推進している3R(Reduce・Reuse・Recycle)を世界中の国々へ進展させ、持続的社会的構築に貢献

## 組織概要

名称	特定非営利活動法人国際環境政策研究所
英文	Non Profit Organization International Research Institute for Environmental Policies 略称 I R I E P
設立	2013年 6月 15日
理事長	小杉 隆
役員	12名 (理事11名 監事1名)
顧問	最高顧問 山口 敏夫 元衆議院議員 元労働大臣 特別顧問 藤田 慶喜 桜美林大学名誉教授
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-9-双葉ビル201 TEL: 03-3504-9030 / FAX: 03-6457-9170

## 役員・事務局・組織図

理事	小林 茂	株式会社浜屋	代表取締役社長
理事	帖佐勇志	株式会社オークファン	執行役員 社長室 室長
理事	陳 五福	株式会社登豊商事	代表取締役社長
理事	南越 孝	株式会社南越商会	取締役副社長
理事	菊地 華州	国際商事株式会社	代表取締役社長
理事	呉 利輝	RECYCLE POINT TOKYO 株式会社	代表取締役社長
理事	所 康生	株式会社ユーズドネット	取締役会長
理事	関口 金作	株式会社エコロジテム	代表取締役社長
理事	岩瀬 勝一	一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合	代表理事
専務理事	梅本 静馬	NPO法人国際環境政策研究所	
事務局長	小林 一平	株式会社都市鉱山国際循環機構	元代表取締役社長
監事	大山 博之	株式会社環境政策推進機構	営業部長



# 活動概要

## 月次定例会・社員総会の開催

### 月次定例会

リユース・リサイクル関係のメディア、3R関連個人・事業者・団体及び中央官庁、有識者等をゲストに迎え毎月第3金曜日に実施

- 1ヶ月の活動報告

中央官庁、地方自治体との意見交換内容  
個人事業者、企業、団体等との意見交換内容  
中央官庁、団体、企業等のイベント参加報告  
その他



- テーマ別討議

環境政策、環境法令、国際条約、行政サービス等多岐に渡った分野における、課題、問題を議題に取り上げ討議



- トピック、報道記事等の報告

業界専門誌、リサイクル通信、月間廃棄物、循環経済新聞等より抜粋

### 社員総会

法令に沿って、年度終了後3か月以内(4月から6月の間)に、社員総会を開催

主に、事業報告、収支決算報告及び次年度事業計画、収支予算計画の審議、役員改選等



## 中央官庁、地方自治体、個人事業者、企業、団体等との意見交換

中央官庁では、主に、環境省廃棄物・リサイクル対策部、廃棄物対策課、産業廃棄物課、企画課リサイクル推進室、経済産業省では、環境指導室、リサイクル推進課、消費者庁では坂東久美子長官（2015年在職時）、取引対策課、地方協力課、国民生活センター、警視庁生活安全課及び国立環境研究所、全国都市清掃会議、アジア経済研究所と意見交換を実施

2017.01.06 世田谷区 清掃・リサイクル部

2016.11.02 北九州市環境局環境監視部産業廃棄物対策課

2016.09.27 金沢市環境局リサイクル推進課ごみ減量化推進室

2016.09.14 北海道北広島市、市民環境部環境課廃棄物管理課

2016.09.09 和泉市環境産業部生活環境課

2016.09.07 仙台市環境局廃棄物事業部、ごみ減量推進課、企画啓発係

2016.09.06 多治見市環境文化部環境課

2016.09.05 静岡市環境局廃棄物対策課適正処理推進係

2016.06.27 足立区長、環境部ごみ減量推進課

2016.04.12 日高市環境課

2016.04.12 所沢市環境クリーン部及び循環推進課

2016.03.25 川越市環境部及び資源循環推進課

2016.03.25 埼玉県東松山市森田光一市長、循環型社会推進課

2016.02.16 福岡県北九州市北橋健治市長、環境局循環社会推進部循環社会推進課  
福岡県直方市上下水道・環境部環境業務課、環境整備課

2016.02.15 福岡県福岡市環境局循環型社会推進部循環型社会計画課

2016.01.26 千葉市環境局資源循環部収集業務課

2016.01.19 さいたま市環境局資源循環推進部廃棄物対策課及び資源循環政策課

2015.10.22 横浜市資源循環局産業廃棄物対策課

2015.09.11 川崎市環境局生活環境部廃棄物対策課

2015.07.10 市川市清掃部循環型社会推進課清掃事業課

2015.07.07 相模原市資源循環推進課廃棄物指導課

2015.06.15 東京都環境局資源環境推進部産業廃棄物対策課

2015.06.01 東京都二十三区清掃一部事務組合

2015.05.29 目黒区清掃リサイクル課

2014.08.08 松山市廃棄物対策課



# 中央官庁・市町村・企業・団体等の視察、見学、イベント参加

## 審議会・検討会・委員会・研究会

主に環境省、経産省主催のリユース・リサイクル、廃棄物に関する審議会、検討会、委員会、研究会等に傍聴出席し、政策の在り方、方向性の確認、調査等を実施しています。

- 環境省中央環境審議会
- 環境省中央環境審議会循環型社会部会
- 環境省循環共生型地域づくりに向けた検討会
- 環境省アジア太平洋3R官民連携ワークショップ
- 環境省中央環境審議会地球環境部会
- 経産省環境省家電リサイクル制度評価検討小委員会合同会合
- 環境省廃棄物・リサイクル小委員会小型家電リサイクルWG
- 環境省使用済製品等のリユース促進事業研究会
- 経産省環境省廃棄物等の越境移動等の適正化に関する合同検討会 等

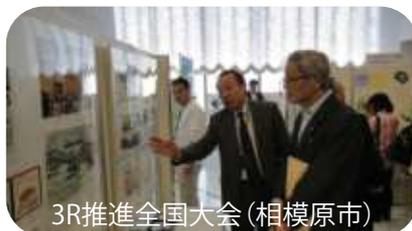


## 市町村・団体・企業

市町村、企業、団体主催の環境イベントへの参加や施設、工場等の見学を行い、3Rに対する知見、情報の収集に努めています。



相模原市南清掃工場見学



3R推進全国大会(相模原市)



スクラップヤード立入調査同行



会宝産業(株)工場見学(石川県)



(株)南越商会 事業所視察(埼玉県)



遺品整理現場視察・作業体験



地域循環圏・2R推進シンポジウム



(株)浜屋 事業所視察(埼玉県)



リベラル(株)障がい者就労支援



宮城教育大学



(株)ユーズドネット 事業所視察(埼玉県)



北九州市雑品スクラップセミナー

## 内外の国際会議・イベント参加、意見交換等

### 国内

#### ■ TICADアフリカ開発会議

Tokyo International Conference on African Development



アフリカの開発をテーマとする国際会議。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、アフリカ連合委員会（AUC）及び世界銀行と共同で開催【外務省HPより】



#### ■ GLOBE Japan アジア・パシフィック議員フォーラム

地球環境国際議員連盟 Global Legislators Organisation for a Balanced Environment

世界の環境問題を議論する、国会議員で組織された国際的組織「GLOBE」のアジアにおけるフォーラム。主に「気候変動」「大気汚染」「廃棄物・汚染水」についてのディスカッションを実施。当法人からも理事長の小杉（GLOBE顧問）が参加



#### ■ I S A P 持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

International Forum for Sustainable Asia and the Pacific



専門家、企業、政府、国際機関、NGO関係者が一堂に会し、持続可能な開発について議論を行う国際フォーラムに毎年参加し、フロアよりコメント述べている



その他、G E A 国際会議、IGES主催公開イベント、環境省・文部科学省主催の国際会議、イベント、日報ビジネス主催「廃棄物セミナー」等に積極的に参加しています。

### 海外

2015年、パリ協定が採択されたCOP21に合わせ、フランス環境省アジア太平洋室及びリサイクル担当官とリユース・リサイクルに関する取り組みについて意見交換を実施。また、GLOBE総会へ出席し、専門家からの地球温暖化の現状と未来、その対策について発表があり、各国の国会議員から多くの質問があった。



フランス環境省アジア太平洋室及びリサイクル担当官との意見交換



地球環境国際議員連盟GLOBE総会

# 講演・セミナー・勉強会の開催

## 講演・セミナー

### EU代表部 GLOBEの活動紹介とIRIEPの具体的取り組み～3R



駐日欧州連合代表部（EU）において、「GLOBEの活動紹介とIRIEPの具体的取り組み～3R (Introduction of GLOBE Activity and Specific efforts of IRIEP～3R)」と題した講演を実施。

### 市中回収事業者（不要品の回収事業者）を対象とした法令セミナー

リユース・リサイクル品を回収している不要品回収事業者を対象とした、廃棄物処理法等の環境法令に関するセミナーを実施（平成28年度は全国17カ所で開催）



## 勉強会

### リユース・リサイクル団体、企業を集めた勉強会の開催

リユース業界を代表する企業、団体を一同に介した、意見交換・勉強会を実施しました。

また、衆議院議員元環境副大臣の田中和徳先生より「今こそ江戸の暮らし方に学ぶとき」と題した、基調講演を行っていただきました。



勉強会・意見交換の様相



理事長小杉の挨拶



アンカー・ワークサービス株式会社



リユース団体代表 JRCA・JRO

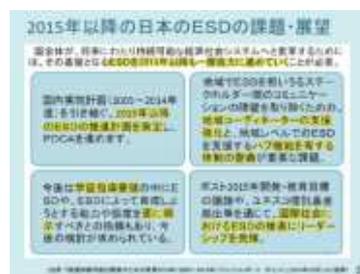


田中和徳先生

### 若手経営者を対象とした環境法令等に関する講演



第5回環境勉強会 [環境と国土交通政策]



第10回環境勉強会 [環境教育とその取組主体]

月に一度、若手経営者を対象とした、勉強会を開催。主に環境法令、気候変動・温暖化、3R (Reduce, Reuse, Recycle) をテーマに実施



# 3R推進・法令順守を基本とした業界自主ガイドライン等の作成

## リユース及びリサイクル品の回収に関するガイドライン

主に、一般家庭で使わなくなった家電製品、生活用品、家具類、食器類、機械工具類等のうち、廃棄物を除く、リユース・リサイクル品の回収における手引きとして、関係法令の説明と順守、回収時の注意点、正しい回収等について詳説。



警視庁、環境省、消費者庁、国民生活センターと意見交換

また、取引内容が消費者に分かりやすようするための取引伝票を作成した。消費者は、無償引取り品、買取り品、作業等の内容と金額、費用等の明細が分かり、特定商取引法及び古物営業法を満たした内容となっている。

## 生前整理・遺品整理事業者育成用テキストの作成

高齢化社会に伴い、生前整理や遺品整理の依頼が増えている中、不法投棄や法外な費用を請求する悪質な事業者も増えている。法令を遵守した適切な対応を行うための事業者育成テキストを作成。

テキスト構成：基礎編、実務編、法令編  
法律、通知・通達、帳票類

[テキスト本編]



[テキスト別冊]



## 次の課題への取組み

不要品を有効活用するための回収ガイドランに続き、中古品を輸出するための事業者向けガイドラインと消費者にとってリユース・リサイクルしやすいしくみの構築を目指していきます。

## あとがき

世界規模で議論されている地球温暖化対策、廃棄物の適正処理は、取組みのための目標、枠組み、そして、法制度が必要です。持続可能な社会は、人類にとってとても大事なことです。そのためには、地球の自然環境、生態系を大きく変化させない生活を考えていかなくてはなりません。川、海、空気、動物、植物、森などがバランスを保つことで私たち人間は生きていくことができます。

NPO法人国際環境政策研究所(IRIEP)は、その手助けとなる活動を続けて参ります。

# IRIEP

International Research Institute for Environmental Policies

特定非営利活動法人 国際環境政策研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-9 双葉ビル201

Tel 03-3504-9030 Fax 03-6457-9170

<http://www.iriep.org>

2018.04.01現在